

学 校 名 三重県立津商業高等学校
科・学年 ビジネス科 2年

【おしごと広場みえ・サポステみえへ訪問】



(サポステ・みえへ訪問)

アスト津3階にある「おしごと広場みえ」と「若者就業サポートステーション・みえ」に行きました。私はこれまで、就職をサポートしてくれるこのような機関があると知りませんでした。履歴書の書き方を教えてくれる等、就職に関する相談ができると聞き、職への不安が少し和らぎました。サポステみえの方に「とりあえず活動してみることが大切」と聞き、1つの職業にこだわるのではなく、業種や職種について研究をしてから決定をした方がよいと知りました。

【県職員の方へインタビュー】

実際に県庁で働いている方に、インタビューしました。「最初は緊張した電話対応も、今では自分で電話をとりたいようになった。」「感謝される時にやりがいを感じる。」等をお話していただきました。また、「分からないことは、聞く前にまず調べるようにしている。」と聞き、大変勉強になりました。



(県職員の方へインタビュー)

【新聞情報収集・情報整理】



(サポステ・みえへ訪問)

体験させていただいたのは、教育に関する記事を切り貼りしてコピーし、1冊にまとめる仕事です。記事を探す作業は、先に付箋を貼っていただいたため、時間をかけずにできましたが、実際は全ての記事の中から探さなくてはいけないので、大変だと思いました。また、「こうすると効率が良いよ。」というアドバイスもいただきました。記事を1枚の紙に貼る際、レイアウトを考えるのがとても難しいと思いました。

【課題レポート作成】

「みえのしごとの魅力をアピールせよ」という課題でレポートを作成しました。この課題について調べて、今は介護職や宿泊業など様々な職業で人手不足だということを知りました。そこで、県内の高校生の就職の現状をインターネットで調べ、課題の解決のためには、どのようにすればよいかを考えました。

【まとめ】

「発送作業」や「新聞情報収集」は、やりがいのある仕事でした。また、9時～16時の6時間の中で、電話が何度も鳴り響くのを聞きました。電話がかからない日は1度もありませんでした。私は電話対応がすごく苦手なので、テキパキと対応をしている姿を見て凄いなと思いました。それから、笑顔を大切にしているということを知り、私も笑顔を大切にしようと思いました。教育委員会事務局の様々な仕事を知ることができよい経験になりました。

県教育委員会事務局での高校生インターンシップを終えて

学 校 名 三重県立津商業高等学校

科・学年 情報システム科 2年

【サポステみえ・おしごと広場みえへ訪問】

2日目にアスト津の3階にある「おしごと広場みえ」と「若者就業サポートステーション・みえ」を訪問しました。訪問するまでは、アスト津にこのような素晴らしい所があることを知りませんでした。「おしごと広場みえ」でお話を伺って、働くためには、コミュニケーション力が大事だと分かりました。「サポステみえ」では何事も経験することが大切であるということを知ることができました。



(おしごと広場みえへ訪問)

【県職員の方へインタビュー】

3日目に県庁で働いている先輩にインタビューをしました。電話の対応の仕方や、仕事で大切にしていることなどを教えていただきました。

【新聞情報収集・情報整理】



(新聞整理の様子)

3日目は、教育に関する新聞の記事を集めて切り取り、冊子に仕上げ、各課へ配付する仕事の体験をしました。教育に関する記事を見つけるために、時間がかかりました。大きいサイズの記事を縮小したり、記事を取りまとめた資料をファイルに綴じこんだりしました。毎日、新聞の情報を収集・整理をするために、朝早くから取りかかる聞き、大変な仕事だと思いました。教育委員会にはいろんな仕事があると実感しました。

【課題レポート作成】

「みえのしごとの魅力をアピールせよ」というレポートに取り組みました。2日目の「おしごと広場みえ」の訪問でいただいた資料を参考にし、インターネットでの情報を加えて課題を完成させました。このレポートについては、最終日に高校教育課の課長とキャリア教育班の班長にレポートの内容についてレクチャーをしました。三重県の企業が人手不足という課題に対し、若者に「おしごと広場みえ」の存在を知ってもらうためにSNSを使った広告を提案しました。



(レポート作成の様子)

【まとめ】

私は、インターンシップで多くのことを体験しました。県庁には多くの人が様々な仕事をし、県を支えていることを知りました。今回の体験で学んだことを忘れないようにして、これからの生き方に活かしていきたいと思います。